

2019年度ワングル木曾駒ヶ岳 ～小雨の千畳敷カールで高山植物を満喫～

記録 行田 眞勝

◇期日 2019年7月16日(火) 日帰り

◇天候 雨時々曇り

◇参加者 14名がバスに乗車

宮田宏美、山下和正、木村 秩、小磯義昭、早川充、穴倉弘、佐久間 勤
 虻川敏雄、高橋龍巳、堀井信治、野極政雄、樋口成男、木村いよ子
 樋口ゆき子、島田美智子、大知洋子、倉持良子、鈴木咲子、行田眞勝
 (現地合流：宮田さん、樋口夫妻、野極さん、島田さん 5名)

19名

◇行程

坂東3-クワリ ～ (境古河IC～八王子JCT) ～ 談合坂SA ～ 諏訪湖SA ～ (駒ヶ根IC) ～
 5:34 7:20 7:40 9:10 9:19 9:50
 菅の台バスセンター～ しらび平～ (ロープウェイ) ～千畳敷 千畳敷カール散策 千畳敷～ (ロープウェイ) ～しらび平～
 9:50 10:03 10:36 10:50 10:57 11:10 13:00 13:30 13:37 13:42
 菅の台バスセンター～早太郎温泉こまくさの湯 ～ (駒ヶ根IC) ～ 双葉SA ～ 菅蒲PA (圏央道) ～ 3-クワリ
 14:17 14:26 14:27 16:05 17:20 17:35 19:20 19:29 20:09

◇記録

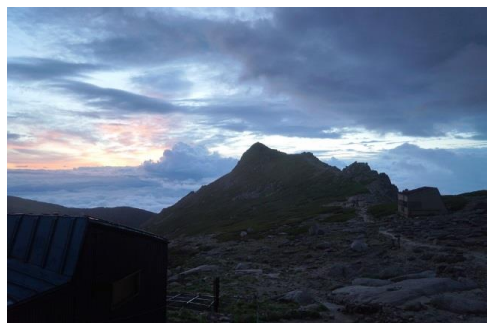
今年には本来の梅雨らしい天候が続いているなか、いつものように坂東ヨークタウンのイエローハット前に集合、生憎の雨のなか5時34分、予定より若干遅れて長妻観光のバスで出発しました。今回は19名の参加で、14名がバスに乗車、野極さん、樋口夫妻、島田さん(女将さん)の4名が菅の台バスセンターで合流宮田さんは、ひと足早く千畳敷の上部、乗越浄土にある宝剣山荘に前泊して皆と合流予定です。バスは境古河ICから圏央道に入り走行中でも雨が降ったり止んだりして、進行方向の秩父方面の山は雲隠れしている。Sさんが「北の方角日光方面の山は見えているのにね」と言っていたが、「どうか駒ヶ根方面が晴れていますように」と心の声……。バスは八王子JCTから中央道に入った頃、野極さんから菅の台で「女将さん確保！」のメールあり、反対じゃないのという声もあり(笑)。1回目の休憩所である談合坂SAに7時20分到着、車内の冷房が効きすぎていたせいか、外に出ると暖かさにホッとします。ここで各自、朝食や昼食、行動食等を買出しする。平日で悪天候のせいか談合坂は空いていた。7時40分出発、中央道を走行していると青空が見え陽が差してきた。奥秩父方面の山は見えるが、南アルプスやハケ岳は雲隠れしている。やがて諏訪湖が見え始め、諏訪湖SAに9時10分到着した。ここからの諏訪湖は絶景で花火大会の時は良い観覧場所だ。9時19分出発したが、ここから駒ヶ根ICに向かう道中に土砂降りとなり、晴れの期待が薄れてゆく。「温泉直行か」という声も出始める。そう言いながらも男性陣は車内で登山靴に履き換え始め、スパッツまで装着し準備万端です。駒ヶ根ICを降り、数分で直行組との待ち合わせ場所である菅の台バスターミナルへ9時50分到着すると、野極さん、樋口夫妻、島田さんがバス停で待っていた。ここから団体バスに乗り換えて10時3分、しらび平へと向かう。車内では、島田さんから松之山の山ぶどうのお菓子を皆に配っていただく。とても美味しかった。途中最大出力1500Kwという中部電力大久保水力発電所を通り標高1662mのしらび平に10時36分到着したが、平日で悪天候のためか観光客は少なかった。10時50分臨時便のロープウェイで出発、空中からの景色を楽しみたかったが、7分半の間ガスがかかったり、とれたりの繰り返し、下を見ると“日暮しの滝”が見える。紅葉の時期は見応えがあるだろう。2612mの千畳敷には10時57分に到着、設置されている温度計を見ると気温15.1度、湿度65%であった。降り場で宮田さんが出迎えてくれた。宮田さんは木曾駒ヶ岳に登頂してきて下山してきたとのこと。宿泊した宝剣山荘からは朝焼けも拝めたとのこと羨ましい限りです、前泊したご褒美ですね。千畳敷からの宝剣岳は雲がかかり、なかなか全体の姿を現さないし、時折雨も降る状況なため、木曾駒ヶ岳登頂は断念し、千畳敷カールの天然記念物エリア散策になった。各自雨具を身に着け11時10分、建物の近くにある駒ヶ岳神社で安全祈願をして散策開始、高山植物観賞をしながら整備された遊歩道を歩く。カールには所々残雪がある。建物の近くにミヤマクロユリ、遊歩道にはハクサンイチゲ・キバナノコマノツメ・シナノキンバイ・ショウジョウバカマ・コイワカガミ等の花が咲き、コバイケイソウが咲き始めていた。穴倉さん・島田さん・野極さん・木村夫妻・堀井さん・樋口(成)さん、行田が乗越浄土へ向かう登山道の途中まで行き、高山植物の群落を楽しむ。花に詳しい穴倉さんと島田さんが熱心に高山植物の鑑賞、他の方もそれに従いのんびりと下り、先行組とは千畳敷カールの看板があるベンチで合流する。時間的に12時を過ぎていたので、ここで食事をし記念撮影をしてロープウェイ乗り場には13時に到着した。約2時間の散策でした。建物の中では、宮田さん早川さん、樋口ゆき子さんが待っていてくれた。相変わらず雨が降ったり止んだりしていたが、宝剣岳を見ると、タイミングよく姿を現してくれた場面も



あった。千畳敷を13時30分発のロープウェイに乗りしらび平へ戻ると、すぐ団体バスに乗車することが出来、13時42分出発して菅の台バスターミナルへと向かう。千畳敷の天候とは対照的に、途中からは晴れて陽が差しはじめる。千畳敷で晴れて欲しかった。菅の台には14時17分に到着、これから2番目の楽しみである温泉です。歩いて行ける距離だが、長妻観光のバスに乗り換えて、すぐ近くの早太郎温泉こまくさの湯には14時27分に到着した。早太郎温泉は、アルカリ性単純泉で筋肉疲労には良い。晴れて空気が澄んでいけば、きれいに中央アルプスが見えるとのことですが、残念ながら見えない。入浴後は各自、地ビールやそば、名物のみそかつ丼などを食べて腹を満たす。1時間半位入浴、飲食に費やし16時5分、直行組の皆さんとお別れして帰途につく。しかしこの途中休憩のために立ち寄った双葉SAに着くタイミングで今日一番の土砂降りとなる。最後まで雨にたたられる。双葉SAより先、圏央道の菅蒲PAにも立ち寄り、車内で秋の山行候補を放しながら坂東ヨークタウンには20時9分に到着した。木曽駒ヶ岳は来年の7月末梅雨明け頃リベンジしたいとの声がありました。ぜひそうしたいですね。今日1日（宮田さんは2日間）皆様お疲れ様でした。



木曽駒ヶ岳登頂（宮田さん）



宝剣山荘からの朝焼け（宮田さん）



千畳敷より宝剣岳

